

プ ロ グ ラ ム

1969年2月5日(水) 5:30 P.M.

- 1 \*\*ビーム (1969) ゴードン・ムンマ  
 —— ポンポンから  
 ヴァイオリン、ヴィオラ、運弓変調器  
 サイバーソニック・コントロール・システム、14チャンネル  
 音響システム
- \*\*発見されたフォルム (1969) スタン・ヴァンダーピーク  
 9台の16mm映写機
- 2 \*\*東京1969 (1969) 一柳 慧  
 コンピューター音楽、流行歌、エレクトロニクス  
 などによる電子音楽  
 14チャンネル音響システム  
 (NHK電子音楽スタジオ制作)
- 3 \*\*アイコンのためのプロジェクト (1969) 松本俊夫  
 5台の16mm映写機、スライド、照明  
 オブジェ・スクリーン
- イコン (1967) 湯浅譲二  
 —— ホワイト・ノイズによる電子音楽  
 5トラック・テープレコーダー〈25チャンネル〉  
 (NHK電子音楽スタジオ制作)
- 4 \*朝のあのこと ロバート・アシュレー  
 5人の男優、8人の女優、男性ピアニスト、女性歌手  
 スライド、6チャンネル・テープ、照明、エレクトロニクス  
 14チャンネル音響システム

\*\* は世界初演

\* は日本初演

1969年2月6日(木) 5:30 P.M.

- 1 \*\*サークルス (1969) 飯村隆彦  
 —— マルチプロジェクション・イヴェント  
 5台の16mm映写機、オブジェ・スクリーン
- \*\*音・環境ミックス (1969) アルヴィン・ルシエ  
 4チャンネル・テープ、14チャンネル音響システム
- 2 \*\*電子音楽〈アッセンブリッジ〉+ 声のための〈アッセンブリッジ〉 (1969) 松平頼暁  
 5人の女性コーラス、リング変調器  
 2チャンネル・テープ  
 (NHK電子音楽スタジオ制作)
- 3 ピング (1968) ロジャー・レイノルズ  
 ピアノ、フルート、ハーモニウム、運弓による  
 シンバルとドラ、16mm映画、スライド  
 2チャンネル・テープ、フォトセル画像移動装置  
 エレクトロニクス、14チャンネル音響システム  
 テキスト：サミュエル・ベケット      スライド制作：カレン・レイノルズ
- 4 \*\*カリヨンのための音楽 第5 (1967) ジョン・ケージ  
 2台のプリペアド・ピアノ、エレクトロニクス  
 14チャンネル音響システム
- 5 \*\*カー・カー・ダンス (1969) 土方巽  
 舞踊家、10名の老婆、6羽のカラス、スライド  
 オブジェ
- \*\*精霊の真空、一名、アメリカは気絶する ジョージ・カチヨッポ  
 2チャンネル・テープ

\*\* は世界初演

1969年2月7日(金) 5:30 P.M.

## 1 \*\*441・4867-0474・82・2603-712・9374

(1969)

8人の器楽奏者, 6台のテープ, リング変調器  
 フォトセルとリレーによる風車装置, トランジスター・  
 ラジオ高周波変調器, その他

## グループ音楽

塩 見 允 枝 子  
 水 野 修 孝  
 小 杉 武 久

## 2 \*\*恋の花占い (1969)

2人の打楽器, 2人のピアノ, スライド, SCRを  
 用いたファイバー・オブティックス, オブジェ・スクリーン  
 14チャンネル音響システム

## デーヴィッド・ローゼンブーム

## 3 \*\*ポエム・フィールド (1968)

9台の16mm映写機, 9台のスライド

## スタン・ヴァンダービーク

## \*\*デジタル・プロセス (1969)

4台のステレオ・テープレコーダー, サイバーソニック・コントロール  
 14チャンネル音響システム

## ゴードン・ムンマ

## 4 \*\*怪 談 (1966)

2チャンネル・テープ, 照明, オブジェ,  
 14チャンネル音響システム

## 武 満 徹

## 5 \* L の G A

ガス・マスクをつけた政客, ヘリウム・ガス,  
 3台の16mm映写機, オーヴァーヘッド・プロジェクター  
 2チャンネル・テープ, 14チャンネル音響システム

## サルヴァトーレ・マルチラーノ

\*\* は世界初演

\* は日本初演

1966年2月5日(水) 5:30 P.M.

会場: 東京・代々木国立競技場 第2体育館

音響技術監督: 奥山重之助

## 出演者

1. 林 よう子, (ヴァイオリン), 小野耕之輔 (ヴィオラ  
ゴードン・ムンマ (サイバーソニック・コントロール))
2. 一柳 慧 (音響移動操作)
3. 松本俊夫, 石河康次, 加藤忠雄, 林 弘史,  
幸路正人, 榎本敏夫 (プロジェクター)
4. 東野芳明, 伊原通夫, 湯浅譲二, 福田繁雄,  
松平頼暁, 浜野安宏, カレン・レイノルズ,  
塩見允枝子, 石井かおる, 今のり子, 堀切ミロ,  
原 晴美, 齋藤美智子, 岩崎じゅん(ハプナー)  
ドン・ディコフ (ジャズ・ピアニスト)  
富岡多恵子, 塩見允枝子, 宮脇愛子, 秋山邦晴,  
湯浅譲二 (声の出演)

14チャンネル音響システム: パイオニア株式会社  
 5トラック・テープレコーダー: NHK電子音楽スタジオ  
 マイクフォン他: ソニー株式会社  
 ステレオ・テープレコーダー: ティアック株式会社  
 石油からの紙 "Qコート": 日本合成紙株式会社  
 岡本紙店

照明: 今井直次

オブジェ・スクリーン制作: 篠原有司男, 三沢憲司

1966年2月6日(木) 5:30 P.M.

会場：東京・代々木国立競技場 第2体育館

音響技術監督：奥山重之助

出演者

1. 石河康次, 加藤忠雄, 林 弘史,  
幸路正人, 榎本敏夫 (プロジェクター)
2. 塩見允枝子, 恩田百子, 三浦由紀子, 河角弥生,  
金子静枝 (コーラス)
3. K・レイノルズ (フルート), R・レイノルズ (ピアノ),  
熊谷 弘 (打楽器), メッサー, オールブライト, アシュレー,  
ベニトス, ラブ, マルティラーノ (スライド投映), 湯浅譲二,  
奥山重之助 (電子音響操作)  
日本字スライド制作：木村直道
4. S・マルティラーノ, R・レイノルズ (ピアノ)
5. 土方 巽 (舞踊家) ほか

14チャンネル音響システム：パイオニア株式会社  
マイクロフォン：ソニー株式会社  
ステレオ・テープレコーダー：ティアック株式会社  
コンタクト・マイク：オーディオ・テクニカ株式会社

照明：今井直次  
オブジェ・スクリーン制作：篠原有司男, 三沢憲司

1966年2月7日(金) 5:30 P.M.

会場：東京・代々木国立競技場 第2体育館

音響技術監督：奥山重之助

出演者

1. 塩見允枝子作品：秋山邦晴, R・レイノルズ, 土屋幸雄 (ピアノ),  
一柳 慧, 湯浅譲二 (リング変調器), 小池 龍 (送風機),  
朝妻明敏, 塩見允枝子 (テープ操作)  
水野修孝作品：斎藤 明 (クラリネット), 戸部 豊 (トランペット),  
福田日出彦 (トロンボーン), 熊谷 弘, 佐藤英彦 (チューブラー・ベル),  
松平頼暁 (指揮)  
小杉武久作品：湯浅譲二, 朝妻明敏, 土屋幸雄,  
松平頼暁 (音響行為者)
2. 熊谷 弘, 佐藤英彦 (打楽器), R・アシュレー, G・ムンマ  
(ピアノ), ヴァンダービーク (妖術師)
3. 今井直次 (特別照明デザイン), 山口勝弘 (オブジェ)
4. ドナルド・ボムス (ガス・マスクをつけた政客)

14チャンネル音響システム：パイオニア株式会社  
マイクロフォン：ソニー株式会社  
ステレオ・テープレコーダー：ティアック株式会社  
コンタクト・マイク：オーディオ・テクニカ株式会社  
石油からの紙“Qコート”：日本合成紙株式会社  
岡本紙店

照明：今井直次

下記の各位のご好意によって、このフェスティ  
ヴァルが実現されました。クロス・トーク／イン  
ターメディア関係者一同は、ここに心からの感謝  
の意を表明させていただきたいと思ひます。

パン・アメリカン航空会社

パイオニア株式会社

ジョン・D・ロックフェラー三世財団

ソニー株式会社

日本放送協会

ティアック株式会社

藤プロダクション

またご寄稿を頂きました下記の各位にも感  
謝の意を表明させていただきます。

ジョン・ケージ氏

R・バックミンスター・フラー氏

岡本太郎氏

滝口修造氏

丹下健三氏

ピーター・イエイツ氏